

令和4年度 学校評価外部評価書

学校名	北海道富良野緑峰高等学校
-----	--------------

外部評価委員会
学校評議員

1 本年度の重点目標

- (1) 学力の向上を図る。～考える力を育み、毎時間の授業への集中と家庭学習習慣の形成～
- (2) 規律正しい生活習慣の確立を図る。～規律、礼儀を重んじた自律的な生活態度の育成～
- (3) 豊かな感動体験を通して、人間的な成長を図る。～特別活動、部活動等の活性化～
- (4) 進路希望の実現を図る。～自らの在り方生き方を考えさせ、主体的な進路決定と望ましい職業観・勤労観の育成～
- (5) 新型コロナウイルス等への適切な対応を図る。～人の成長は止まらない、すべきことをできる範囲で最大限のことを行う～

2 本年度の経営方針

- (1) 日常の教育活動を通じて、教育目標・重点目標の具現化に努める。
- (2) 日々の授業を大切に、一人一人の生徒の個性や能力を重んじた教育実践に努める。
- (3) 分掌、学年、学科、教科間の連携を密にし、一貫性のある調和のとれた教育活動の充実を努める。
- (4) 日常の実践活動を基盤とした効果的な研修活動の推進に努め、校内研修の一層の充実を図る。
- (5) 家庭や地域との連携を強化し、情報の発信と説明責任を果たせる教育活動に努める。

3 自己評価結果 (A：十分である B：おおむね十分である C：不十分である D：改善を要する)

分野・領域	評価項目	達成状況	取組の適切さ	改善の方策等	自己評価の適切さ	改善に向けた取り組みの適切さ
学習指導	基礎・基本の確実な定着を図るため、指導法の工夫・改善に努めている。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領の趣旨やねらいを踏まえ、各教科の特性に応じた指導方法や評価の観点について、研修を深めていく。 ・ICTの活用については、引き続き各教科で研修を重ねていく必要がある。 ・各科に応じた魅力ある科目を検討し、地域に貢献できる充実した学校づくりを検討する。 	A	A
	主体的な学習態度を育てるため、課題解決的な学習を取り入れた指導の推進に努めている。	A	A			
	各教科・科目の指導計画（シラバス）を作成し、学習目標や学習方法を事前に生徒に説明している。	A	A			
	教科・科目の指導目標を明確にし、各教科毎の指導方法や評価法（評定）の研究に努めている。	B	B			
	学習指導要領の趣旨やねらいを踏まえて、教科指導と特別活動の調和した教育課程の編成を行っている。	B	B			
外部評価者の意見	職業高校の特色を活かして各学科の指導にあたっていると感じる。卒業後の進路につながることを一層期待している。					
生徒指導	人としての在り方、生き方（人格形成）に関する教育に学校の全ての教育活動を活用している。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・外部人材を活用した各種講話や教室の実施と充実を図る。 ・教育相談や面談などを活用し、情報の共有を行う事で生徒個々の理解に努めると共に生徒指導に活用する。 ・生徒指導部便りなどを活用し情報発信を行い、心の育成や問題行動の予防啓発を行う。 	A	A
	思いやりの心や生命を尊び、いじめを許さない態度を育てる生徒指導を行っている。	B	A			
	個々の生徒の理解に努め、保護者と学校が一体となった生徒指導を行っている。	A	A			
	ボランティア活動や地域行事への参加など、地域とともに生徒を育む生徒指導を行っている。	A	A			
	交通安全に対する意識を高め、人命の尊重と安全行動習慣を養う指導に努めている。	B	B			
外部評価者の意見	先生の評価と保護者の評価のずれが大きいと感じる。					
進路指導	進路実現に係わる適切な情報や資料の収集と提供に努めている。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の収集方法について、進路室を積極的に活用させ、早期進路意識の向上を図る。 ・進路意識が低下しないよう進路活動の事後指導の充実を図る。 ・進路通信や掲示物により、情報の提供に努める。 	A	B
	生徒や保護者、地域の期待に応える、充実した進路指導の体制作りを努めている。	A	A			
	地域や関係機関と連携し、生徒個々の進路実現を図るために積極的な支援を行っている。	A	A			
	インターンシップをとおし地域とともに職業観・勤労観の育成に努めている。	A	A			
外部評価者の意見	高校卒業後に進学した生徒が希望通りの進路に進んでいるのかが知りたい。希望通りに行かない場合もあるという情報を含めて、生徒への情報提供を確保してほしい。					
健康安全指導	体育・健康に関する指導や保健衛生の理解をとおし命の大切さと健康で安全な生活を送る指導を行っている。	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練や性の講座、保健便りなどを活用して防災や感染症予防等の意識を高め、正しい知識を生徒に伝える機会を作り、意識の向上、知識の定着ができるよう取り組みの工夫をする。 	A	A
外部評価者の意見	コロナ禍の状況で運動不足の傾向にあるのではないかと。体育・健康に対する意識が高いほど、生活習慣が規則正しく身につくことを踏まえ、家庭・地域も一体となって取り組んでほしい。					
保護者、地域住民等との連携	PTA便り、HPなど、あらゆる機会をとおし、情報発信と情報の共有化が図られている。	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校便り、PTA便り、ホームページを積極的に活用し、教育実践の可視化と保護者、地域への情報発信に努める。 ・今年度のPTA活動は新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で、支部懇談会、PTAバザーを再開することができた。例年とは異なる形式であったが、保護者との交流は不可欠であることを確認できた。この経験を活かし、今後もコロナ禍におけるPTA活動を模索していきたい。 	A	A
	学校の教育方針や特色ある教育について、保護者や地域の人々に説明している。	B	A			
	PTA活動に積極的にに関わり、その活動が充実したものとなるように努めている。	A	A			
外部評価者の意見	成果と課題を共有し、家庭・地域と一体となった、コロナ禍における新たな取り組みを期待している。					
研修	日常の教育実践を基盤とした効果的な教科内研修はもとより、校内研修の充実を努めた。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・授業公開週間では来校者を増やす工夫と共に、教員どうしの参観も積極的に行えるような工夫と意見交換が出来る場を設けていきたい。 ・オンラインを活用した教育活動についての研修等を引き続き深めていきたい。 	A	A
	教職員として専門的な知識や実践的指導技術の向上を図るために組織的・計画的な研修に努めた。	A	A			
外部評価者の意見	教職員評価は必ずしも高くないので、具体的な改善の方策に期待している。					

4 自己評価における特記事項

「達成状況」「取組の適切さ」は保護者評価・教職員評価、分掌内での反省を総括し評価した。達成状況は全ての項目でB評価以上の結果である。保護者からの回収率を上げるために、次年度は実施時期の変更なども検討していきたい。令和7年度の富良野高校との統合も視野に入れつつ、本校の魅力を発信し、生徒募集につながる取り組みを進めていきたい。